



ワールドガーデンコンペティション出展作品 (社)ランドスケープコンサルタンツ協会会長賞受賞 (社)静岡県造園緑化協会 西部支部

目次

会長挨拶……………	P2	報都市局 公園緑地室 「愛鷹広域公園 ユニバーサルデザインの 取組み、ホテル観賞の紹介」……………	P12
局長挨拶……………	P3	景観整備機構コーナー……………	P13
第30回造園緑化協会通常総会……………	P4	報農林業局 みかん園芸室 「浜名湖フェアガーデンフェア2009」が盛大に開催……………	P13
公益法人制度改革……………	P5	社士会だより 会員の要望もとり入れて……………	P14
校内緑化第三弾で集大成……………	P5	協会 新役員体制で平成21年度事業計画スタート……………	P14
浜名湖フェアもガーデンフェア2009の報告……………	P7	建産連会長表彰に岡本正氏……………	P14
優秀施工者国土交通大臣顕彰……………	P9	緑・花文化の知識認定試験……………	P14
建産連会長表彰……………	P9	みんなの広場 富士山静岡空港開港記念植樹を終えて……………	P15
支部だより (中部支部) 高校生の造園インターンシップ……………	P10	協会日誌……………	P15
報環境局 地球環境室 「県庁本館屋上緑化施設」のご紹介……………	P11	話題の森 富士山静岡空港建設とともに13年 自然環境の保全に大きく貢献……………	P16
桜で彩る富士の景観づくり……………	P11		
報環境局 環境ふれあい室 「樽原ふるさと森」等で富士山静岡空港見学と 一体となった環境教育を始めます!……………	P12		
県立森林公園「ガイドウォーク 自然を歩こう」……………	P12		



(社)静岡県造園緑化協会会長

片桐 利男

水のように強くあれ

過日の通常総会にはお忙しいところ多数御出席と御協力をいただき、無事終了できました事をまずもって厚く御礼申し上げます。

梅雨の季節となり、うつつらしい毎日ですが、その中にあつて色とりどり咲いているアジサイの花を見ますと何となく心が癒され、うつつとしさも一時忘れさせてくれます。

過ぐる五月に浜名湖ガーデンパークで開催されました「フラワー&ガーデンフェア」では会員の皆様から大変なご協力をいただき、有難うございました。また、この秋には浜松モザイクカルチャー世界博が開かれます。我々の業界にとりましても関係のある催しでありますので要請が参りましたら、ご協力のほどお願い申し上げます。

さて、本年も昨年から吹き荒れております大不況の風はなかなか治まらず、はつきりとした好転の兆しも見えて参らぬ上に、追い討ちをかけるような新型インフルエンザの発生と、誠に暗く不安な話題につき

であります。私ども業界も例外でなく年々厳しい環境の中にあり、会員の減少等多難な時を迎えておりますが、今こそ緑化の推進、保護、維持管理に携わる県下唯一の団体として誇りを持って一致団結し、苦難を乗り切つて参らねばなりません。

先日、私はある書物で大相撲の尾車親方(元大関琴風)の手記に出会いました。現役時代大関の琴風は関脇のとき、左膝の靭帯断裂という重傷で幕下三十枚目まで番付が下がりましたがそこから又這い上がり番付を上げたのですが、大関のかかった関脇の場所でも再度大怪我をしてしまいました。医者の診断は再起不能でした。それでも血のにじむようなリハビリを繰り返し、一年後に奇跡の復活を遂げ、ついに大関になることが出来ました。「医者から「ヤメロ」と言われてから強くなりました。「もう駄目だ、苦しい、死んだ方が楽だ」という最悪の時が実は自分の将来を決める勝負の時だと思っていました。その時こそが自分を強くしてくれるのです。」というような文が書かれていました。「水のように強くあれ」「水滴りて石を穿つ」微力を積み上げ大事を成し遂げる大関の書に勇気ももらいました。

いかなる不況にも、いかなる障害に遭つても強く生き抜き、決して弱音を吐かず負けずに執念を燃やして「水のように強く」前進して参りたいのであります。会員の皆様方の一層の踏ん張りとお祈り申し上げます。



静岡県環境部長

石野 功

社団法人静岡県造園緑化協会会員の皆様におかれましては、日ごろから緑豊かな住みよい県土づくりや緑化技術の発信など本県の環境緑化行政の推進に御尽力いただき、深く感謝申し上げます。

さて、御承知のとおり、去る六月四日に富士山静岡空港が開港し、国内外の訪問者をお迎えする空港の玄関口では、開港記念として貴協会からお贈りいただきましたクスノキが、威風堂々とした姿で来場者を出迎えており、今後も空港のシンボルのつとして、空港とともに成長していくことと思います。この場を借りて改めてお礼申し上げますとともに、今後とも富士山静岡空港に対する変わらぬ御支援をよろしくお願い申し上げます。

さて、空港の開港に伴い本県への交流人口の拡大が期待されており、また、秋には国民文化祭「はばたく静岡国文祭」が県内全域を会場として十月二十四日から十六日間にわたり開催されるなど、今後もより多くの方が静岡県へ訪れると考えられます。

来訪された方々を美しい緑あふれる潤いのある空間でお迎えるこ

とは、私たちの「おもてなしの心」を伝え、静岡県の魅力を多くの人に知っていただくきっかけになることと思われまします。そのため県では、住む人の生活に潤いを与え、訪れる人には感動を与える美しい景観の形成に取り組んでおり、そのつとして、平成二十年度から県東部地域を中心に「桜」と「富士山」を核とした「桜で彩る富士の景観づくり」を進めております。伊豆半島を含む富士山麓地域を一体的に捉えて、長い期間桜が楽しめる魅力ある地域とするための「ぐるり富士・伊豆桜道」の形成や、国立遺伝学研究所と連携し、日本の様々な桜を見ることが出来る「日本の桜の郷づくり」など地域住民等との協働により進めております。

こうした魅力ある景観の形成には県民、市町、企業の参画に加え、特に専門技術を備えた貴協会のお力添えが必要でありますので、会員の皆様方におかれましては、今後とも御協力いただきますようお願い申し上げます。

結びにあたり、貴会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げます。●●●

・事例紹介：愛知県豊田市立西尾小学校
近藤 厚 氏
「センス・オブ・ワンダー」をばくむ学校環境づくり
平成18年2月に全国学校ビオトープコンクールで奨励賞を受賞した西尾小学校が、緑の四季の変化、動植物の生態の催かの変化も見逃さないよう子供たちと写真を撮り貯める努力を継続している。ビオトープ部を結成して生徒の自主管理を進めることやシンボルツリーのオオイ



山田辰美講師



加須原真講師



衛藤徹雄講師

・事例紹介：東北芸術大学非常勤講師
加須原 真 氏（国語専ら保育園の例）
「みる・ふれる・楽しむビオトープ」活用と維持管理の実例
平成20年2月に全国学校ビオトープコンクールでドイツ大使館賞を受賞した同園は園内に造成されたビオトープのみならず保育園のまわ



近藤厚講師

りもビオトープとしてとらえて活動している。保育士の自発的な動植物のマップ作りや園外から眺められる秋の七草ゾーンなど季節感を取り戻すことも大切アイデアを披露。また、草木の管理も手で草を刈ることし、残しや凹凸をつけながら虫のえさ場、隠れ場を確保することが重要と紹介した。

【第一部】

・講演：朝八代造園常務取締役 衛藤徹雄 氏

「校庭の芝生の維持管理」

最後のまごとして芝生の維持管理計画、維持管理費、芝刈、散水、肥料散布、目土、芝生の更新、病虫害防除など管理の必須条件のポイントについて実例を紹介しながら解説をした。今後、国や地方自治体の支援が受けられる追い風の中で緑いっぱい学校が増えたいことを期待した。

学校等環境緑化推進に関わるテーマ設定体系（実績）

	第1段階（平成18年度）	第2段階（平成19年度）	第3段階（平成20年度）
校区内緑化	「自然の教育力を引き出す庭」 1 自然再生・学校ビオトープの意義 2 子どもとときめかす空間 3 世代間交流の場 4 維持管理の楽しみ方 5 自然体験活動の減少、子ども遊びの変容 6 自然でよい子は育つか ※ネーチャークラブの制作	「ビオトープづくりの実例」 1 計画の手順について 2 調査手法について 3 設計・施工のポイント 4 植物の選定について 5 コストの考え方 6 メンテナンス（順応的管理）の方法	「学校ビオトープを生かす」 1 新しい維持管理と利用の考え方 2 ビオトープ作りを目的化しない 3 ビオトープを活かす環境教育の視点 4 活動によるビオトープの活性化 （事例紹介） ① 西尾市立西尾小学校 ② 函南さくら保育園
	「校庭の芝生づくりの実例」 1 校庭の芝生利用の実例 2 校庭の芝生化で子どもはどう変わる どころ？ ・芝生の弾力性・グラウンドの硬度 ・微気象の温度調整 3 自然と触れ合う楽しみ ・芝生の一般的利用 4 芝生の種類 5 校庭の芝生づくりの作業 6 校庭芝生化の現状	「校庭の芝生づくりの進め方」 1 校庭の芝生化の全体計画 2 運営の取り組み体制（協力体制）とその事例 3 芝生化成方法と工事費（コア苗、播種） 4 芝生化成の経費 5 支援制度 6 校庭芝生化の課題	「芝生の維持管理」 1 芝生維持管理の必要性と考え方 2 維持管理計画と費用 3 芝刈、散水、肥料、雑草の種類と管理のポイント 4 病虫害害の防除 5 目土の効用 等

学校環境緑化

芝生化

伝統的なイギリス庭園の施工

南小津造園 小津 功

クリスと深く抱き合い、いつかまたこのチームで庭を造ろうぜ。その約束をして、彼らはイギリスへ帰国した。

昨年の2月頃、当社でクリスのクリス・ペアド・シヨウの庭園を施工するに決まりました。しかし、彼は最初の顔合せに他の外人デザイナー3名より1ヶ月遅れて来日して下さり、私は内心、他の施工チームが先へ

と打ち合わせが進んでいるように焦りました。その後、彼が来日して簡単な図面とイメージ写真をもらったのですが、それをほじめて見ると感想が「こんな当社が得意なのか、したい予算が合うのか・・・」でした、私は彼に植物リストや図面、材料の詳細を今後送ってくださるよう依頼したのです。

「やるしかない、何とかかなさ。」そう自分自身と江内スタッフに言い聞かせ、その後の施工準備に緊張を感じていました。しかし夏が過ぎ、秋が過ぎて連絡が来ない、私から送った内容の返事すら来ない、私やスタッフが焦るのも当然だけど、主催者側までも焦つていました・・・

今年の正月明け、やとヌールが送られてきた、内容はすべて英語の専門用語、さっぱり理解できない・・・困った、当初頼んでおいた通訳者に聞いても訳が通じない、なんの通訳の展開、またまた頭の痛いことになってしまった。

まずは、パワコラの建築構造や材料、手法ののだが、指定している材料が日本では入手困難であったり、高橋を越え購入できない、まるで住まいを建築するかのようなど頭大な構造、特殊な植物リストの解説も150種類以上あるのだけれど、自分でも情けないほどで、造園屋なのに数種類の樹木以外、花や草植物はほとんどが理解できなかつた。

この仕事が決まると、主催者側より専門のコーディネーターが紹介されたのだが、その方が言っていたのを思い出していた「日本の庭園の多くが花を多量に使用する手法が無いから戸惑う」と思うよ、なるほど、その通りだろう。施工がはじまり各業者とも着々とすばらしい庭園として姿が変化して



ようやく完成した夕刻、施工チームで記念写真

いくなかで、数日ずれを外人デザイナーが来日しはじめようになり、緊張も高まってきました。しかし彼は今回も最終に来日してきましたため、残りの施工期間が10日間しかありません。この時すでに自分たちの庭はパワコラや高木植栽は施されたのですが、花や草植物の選定、買い付けができていないため大急ぎで市場や園芸店、植木屋に走り回り相当数の植物を集めたのでした。私は実際のところ予算と完了の期日の心配ばかりしていました。

彼が私たちの施工途中の庭を見て感謝してくれた時、少しだけ苦労が報われ、安心し、と同時に必ずや美しい庭を完成させて美園を存もうと決めたのです。彼と共に大雨の日も、大風の日も作業をし、それまでの苦労も忘れるほど楽しく施工ができた。自分達の想像できないような花の配置と本数を植付、新品のパワコラや石材を古風に飾り完成へと進んでいます。そして完成の日、夕陽が沈む前にみんな記念写真。その夜、彼らと乾杯した酒は、涙がでるほど美酒でした。

この仕事を振り返って思う事、イギリスの庭づくると考え、こだわりの、やさしさ、他に多くを学ぶことができました。もしチャンスがあるなら再度挑戦してみたいです。予算が問題ですが、最後に、あがが、クリス、ジョー、デイ、フランク、ヒロ。

ワールドガーデンコンベンション 2009の展示作の製作を体験して

関田緑化 岩田 春喜

4月30日、午前8時。最後の仕上げを終えて、モーニー・ホール氏とその助手レイ・ウィリアムソン氏とお互いの労を褒め、握手をし、記念写真に納まりました。

4月1日に彼らが来日して以来、庭園製作の進みは勿論、あらゆる面で私達が常識であると思う事が覆され、カルチャーショックとも言える日々でした。

展示庭園製作は、3月15日頃から開始し、植栽以外は手を付ける事を許されなかつた。構造物の製作と設置を進めました。しかし、デザイナーはイギリス原産の、毎日ヌールに写真を添付して進捗状況を報告し、指示を仰ぎました。図面というのも、こちらの感覚では、ラフなもの、こちらの感覚ではありまないので、仕上がった物を写真で見、チェックをして貰うしか方法が無かつたのです。

噴水はイギリスで買ったので、直接船便で輸送する方法をとりましたが、デザイナーの感覚では、静岡県は東京のすぐ近かつたらしく、大井埠頭に荷揚された為、引き取りに行く事になりました。こちらは、その前年に来日した折に見せて貰ったカタログしか無く、どういう荷姿



チームワークと汗の結晶に日本花の会賞

で、どの位の大きさかも解らず、輸入社から来たBに記載が有つたのは、「4パック、1200kg、7336匹」のみ、想像もできません。運送会社に頼む訳にもいかず、仕方なく朝1番の新幹線で東京に行き、商社に輸入手数料を支払い、その足で東京税関で税金を支払い、倉庫会社で実物を見てレンタカーを借りて連日用意をしました。しかし、倉庫会社で見た実物は予想をはるかに超えた大きさで、「一番大きな荷姿の物はプラスチック製のアルミホイール付の、横にする事も出来ず、倉庫会社の方々と知恵を出し合つて何とか積載した位です。そこから、会場までの200km余り、これも経路した事が無かつた緊張の連続でした。丁度その日、彼等が来日し

ました。やつと無事に着いた安堵感を実感する間も無く、滞在先のホテルに行き、拙い語力を駆使して頭の中身までクタクタになったその夜は、とても深い眠りに落ちました。

それから、彼等と共に少しずつ展示庭園の製作に入りましたが、彼等の流儀では、植物が揃わない限りは植えないという事を知って知り、養生が済みの樹木や草花も全てデザイナーが実物を確認してから注文となり、それらが、全て、揃う迄の間、時間だけが過ぎて行きました。周りの庭園が段々出来上がって行く様子を横目で眺めながら、本心では「動揺すれば我が社の職員も気が気では無くなる為、「大丈夫、大丈夫」と、どこやかに明るく振舞う日々が続きました。噴水の製作は、助手のMr.レイの頼もしいが、細部の仕上げやブローチの納め方は、我々が気を使う所とは全く違い、良く言えば大雑把、悪く言えば意匠の域を出る物では無く、「本当に良いんですか？」と職員に聞かれる事も多くなりました。あとと残り1週間を切った頃に、ようやく全ての植物が揃い、植栽をする段となりましたが、その初日に雨に降られ、とうとう4日間で2000鉢余りを植える計画になりました。これまでの自分の「行い」を今更悔い改めても仕方が無い、と腹を括り、最後の3日間は、10人人体勢で挑み、何とか

完成を見る事となりました。

植栽を終えてからの彼等の花に対する気配りは素晴らしい物でした。少しの異常も見逃す事無く管理をし、蕾の段階では花を連年する姿を眺めながら、彼等が何故、世界規模の中で二選でいられるのかを、実感しました。勿論、デザイナーでありながらも、現場と共に汗を流し、言葉が通じない私共にも気を遣って声をかけ、終始和やかな雰囲気を作ってくれたMrs. モーニーは文句無く、素晴らしいLadyでした。審査結果が出た後、彼女は申し分ない事に、Sorreyを繰り返すだけでも、良い経験させて貰っただけでも、私には何事にも替えがたい宝であった由、説明すると彼女とレイは、とても嬉しそうに笑顔で「また、一緒に仕事が出来ると良いな」と言ってくれました。私も同じ思いです。困難も、見た目も、環境も全く違う外国人は有りませんが、一人の人間として、また、同じ植物を相手とする職業人として、彼等を尊敬しています。今回のような貴重な経験をさせて頂き、関係各位には感謝の言葉だけでは尽くせない思いが有ります。今回の経験を礎に、一層の精進を重ね、業界発展の為の一助になるよう頑張つて参る所存です。末筆ではありますが、今回の出張に関係された全ての方々に感謝をし、筆を置きます。ありがとうございました。

〈庭づくり相談会〉

恒例となった庭づくりブレゼンテーションは今回も大盛況。20名つづき3日間60名の方々が草木の丈と花の色彩のバランスを互いに話し合いながら庭づくりを楽しんだ。畑りには大きな樹木をお土産にまた来年もぜひと笑顔を残して。



和気あいあいの植栽作業

〈庭づくり相談会〉

今年も庭木を愛する方々がテントに足を運んでくれた。着花、樹勢、病害虫防除、剪定方法、ペランダの緑化方法など多岐にわたる内容。笑顔のお礼で疲れも飛んでしまっ



様々な質問に答える会員

優秀施工者国土交通大臣顕彰

国土省「建設マスター」に海野豊氏

平成21年5月27日にマルバクホール(東京都港区)において優秀施工者国土交通大臣顕彰式が行われ、当協会会員の海野豊氏(株)森造園(静岡市)が国土交通省から建設技術者のトップレベルの称号「建設マスター」を授けられました。今後のさらなる研鑽と後進の指導などの活躍が期待されます。



海野 豊氏 (株)森造園

建産連会長表彰

建設産業団体連合会会長表彰に

5月28日、静岡市葵区内の「静岡県産業経済会館」で開催された平成21年度静岡県建設産業団体連合会通常総会の席上、建産連会長から当協会員2名に表彰状が授けられました。渡邊進氏(有)常華園(は造園技術の向上や従業員の労務・厚生への改善に努めたほか後継者の指



渡邊 進氏 常華園



長田 正義氏 養樹園

支部だより (中部支部)

高校生の造園インターンシップ

〈県立静岡農業高等学校〉

恒例となっている県立静岡農業高等学校造園系インターンシップが平成21年2月6日から2月6日までの4日間静岡市管内で行われました。本年は17社から2年生21名の生徒を受入れました。参加した生徒は初めての体験の中、苦勞の連続であったかと思いますが、熱心に学習し自己研鑽に努めました。将来の造園建設業を担う生徒がどんな想いを抱いたか感想文をいただきましたので紙面の都合上の一部を紹介いたします。

〈2年3組 大嶽晴樹〉

初めて会社に行つて打合せをして現場に行くという事で、最初は少し不安でした。自分もインターンシップの間はその会社の一人という事で、重要な作業をする時も失敗がないようにと真剣に取り組みたいと思います。

公園工事の見学の時は、土木的なことが多く、土木会社と協力して仕事をしています。その際にあずまやも造園で建てたということも教わりました。今までも土木で建てている



と思つていたので勉強になりました。見学以外の移動中の時なども街路樹の名称や剪定時期も説明していただき、ありがたうございました。今までは造園の仕事は剪定と庭造りでした。土木と造園は別だと思つていました。だけど、公園工事をやったり、その時には土木と協力して仕事を行つたりしているのを見て、造園業は単純じゃないと改めて感じることができました。

今回のインターンシップで様々なことを知ることができました。親切に教えていただきありがたうございました。



〈2年3組 鈴木麗奈〉
私はインターンシップに行つて、さまざまなことを学べたと思えます。特に私が苦手だった剪定ですが、とても分かるようになったと思います。現地では実際に剪定をしながら私達にどの枝をどのように剪定するか、とても分かりやすく説明をして頂き、以前よりも剪定ができるようになりそうです。

そして3日目は刈り込みのしかたも教えて頂き、自分から進んで刈り込みをする事ができました。

職場の人たちとても楽しく会話ができて、造園のいろいろな話を聞くことができ、この木にはこんな特徴があるということなどもたくさん教えて頂き、とても自分の為になったと思います。4日間は短かったです。本当に良い経験をしたと思います。そして自分の将来の為にしっかりと役立てていきたいと思えます。

〈2年4組 石井菜乃花〉
4日間の実習の中での実習もとても勉強になりましたが、特に楽しんで心に残った実習内容は、2日目にやった高木の植え込み、3日目の剪定です。

2日目の高木はたくさん手伝つていただきましたし、教えて頂く事ばかりでしたが、サクラの幹巻きから植え込み後の結束まで、自分の手でやれた事がとても嬉しかったです。

初日と比べて、1日しか経っていないのに、どんな景色を変えていく様々を見て、こんなにすごい作業に携わることができて、本当に良かったと感じました。

3日目の剪定では、授業ではあまり使わないコギリを主に使つて枝を切り落として、知らないことをたくさん教わりながら剪定ができてとても楽しくてよく覚えていきます。

また、事業所の方々にも大変良くしていただき、4日間大変でしたが、とても楽しく仕事を二精させていたことができてきたと思います。最初は正直しつかり仕事に取り組みるか、事業所の方々と同じくらいあざつたりお話したりできるか不安がありました。僕が四日間しつかり仕事に取り組みていたかは分かりませんが、皆さんが明るく接して下さったおかげで、僕も明るくあざつたりしたり、お話をしたりすることができたのではないかなと思つています。

僕はこの四日間を思い返し、考えながら、成長することができました。このインターンシップという貴重な体験を将来につなげていきたいと思えます。

移動している時にも、視界に入る樹木についての説明を詳しく丁寧に教えてくださり、とても勉強になりました。4日目、初めて目にするのと、耳にするのと事が多く、あつという間でした。



（2年4組 鈴木麻耶）

この4日間を通して、造園はとてもやりがいのあるいい仕事だなと思いました。仕事が始まる時間が学校より1時間も早く、毎朝大変だなと思いました。冬は気温も低く、寒い中朝から夕方まで外で作業をするので、とても体力のいる仕事だと思っています。



夏もハチに刺されたり、毛虫に刺されたりすると聞いたので、とても危険な仕事かと思いました。

枝が伸びすぎてボサボサだった木が、少し枝を切って整えることもするそれで、すごくいい感じになりました。

ぼさぼさだった木を剪定して整えると、たっさんの人が「スッキリした」などと喜んでくれるので、とてもやりがいのあるいい仕事だと思います。

県環境局 地球環境室

「県庁本館屋上緑化施設」のご紹介

静岡県では、自らの事務事業に伴い排出される温室効果ガスの排出量削減を目指した「県庁エコオフィス推進事業」の一環として、県庁本館屋上に緑化施設を整備し、平成二十一年五月から一般公開されています。

この緑化によって、建物の断熱効果向上し、空調に係る電気代年間約二十万円の節約と二酸化炭素の年間排出量約十トンの削減ができるものと推定しています。

緑化施設の面積は約7百㎡で、そのうちの西側の公開部分、約三百五十㎡は、木道その他、花壇や休憩所があり、天候に恵まれれば富士山も望むことができるなど、くつろぎと安らぎの場となっています。是非一度、ご覧下さい。



公開は、平日の午前九時から午後4時までで、ご利用の際は、県庁本館二階の案内所に受付をお願いします。

○問合せ先 静岡県地球環境室

○電話 〇五四―三二一―三〇八

桜で彩る富士の景観づくり

静岡県は、伊豆半島を含む富士山麓地域を全国でも有数の新しい桜の名所に育て、日本を象徴する桜と富士山の景観を創出するともに、

山麓地域を全国でも有数の新しい桜の名所に育て、日本を象徴する桜と富士山の景観を創出するともに、交流人口の拡大と地域振興を図ることを目的に、「桜で彩る富士の景観づくり」を考える会（平成十九年度設置、有識者等十四名）の意見を踏まえ、平成二十一年一月に「桜で彩る富士の景観づくり構想」とりまとめました。

構想では、魅力ある新たな桜の名所地域づくりを市町、地域の方々等との協働により取り組むこととしていきます。

①「ぐるり富士・伊豆桜道」
構想では、地域を一体的にとらえ、長い期間桜が楽しめる魅力ある地域づくりを進めるため、「ぐるり富士・伊豆桜道」の形成を進めることとしました。この地域には、百四十五箇所以上の桜名所があり、桜の品種や標高差により、十月から五月まで桜を楽しむことができるという特徴ある地域です。

「ぐるり富士・伊豆桜道」は、地域内の桜名所を富士山の眺望など地域の魅力により結んだ十二の桜道で構成されています。桜道の形成は、各桜道内の既存の桜名所で樹勢回復や植栽などによって充実を図るとともに、新たな桜名所づくりを進めることで、富士山の眺望などの魅力に加え、地域の桜の特徴をより高めていくことで進めます。

各桜道内の桜名所では、既に地域住民等により、てんく県病の防除や新たに桜を植栽するなど桜名所を充実する取り組みや、新たに桜名所をつくる取り組みが始まっています。

②日本の桜の郷づくり
国立遺伝学研究所（三島市谷田）には、全国から収集された三百六十品種余りの桜が保存され、日本の桜の貴重な遺伝資源となっています。これらの桜の後継木の保存・育成を図るとともに、日本の様々な桜を見ることが出来る地域づくりを進める

ため、遺伝研から苗木の提供を受け、地域の方々等との協働により桜の植栽を進めています。

○問合せ先 静岡県地球環境室
○電話 〇五四―三二一―二八四九
○ホームページ
<http://www.pref.shizuoka.jp/kankyo/ta-030/index.htm>



平成20年度さくら写真コンクール入賞作品
「春の彩り」



NPOと地元企業等の協働の取り組み
（てんく県病除去作業）

県環境局 環境ふれあい室

「榛原ふるさとの森」等で富士山静岡空港見学と一体となった環境教育を始めます！

富士山静岡空港は、計画の段階から地域環境との共存を図るため、空港周辺部の里山をはじめ、水辺や農耕地に広がる多様な自然環境、貴重な動植物等の保全に努めています。そこで、空港見学に来た小中学生の皆さんに、空港隣接地に整備した「榛原ふるさとの森」などの豊かな自然環境を活用して、空港見学と一体となった自然とのふれあいや環境教育プログラムを9月から提供します。

「榛原ふるさとの森」は、富士山

静岡空港に隣接する牧之原市切田

内で、昔は普通に見られた谷津田や棚田、草地を整備し、様々な生き物が生息できる環境を保全、再生している面積約25haの里山です。静岡県環境学習指導員や環境教育の専門家などで構成される団体が、参加人数に応じた指導員を派遣し、様々な環境教育プログラムを実施します。

○問合せ先 静岡県環境ふれあい室
○電話 〇五四―二二二―二九一九

県立森林公園「ガイドウォーク 自然を歩こう」

静岡県立森林公園ビシターセンター・パードピア浜北（浜松市浜北区尾野）では毎週土曜日に自然観察会イベント「ガイドウォーク 自然を歩こう」を開催しています。ガイドと一緒に園内をゆっくり歩きながら、森林公園の四季折々の自然を観察します。時折、聞こえてくる鳥の鳴き声を聞きながら、野鳥や植物、昆虫などの生き物を観察する一時間半は、子ども時代に戻ったような感覚を味わうことができます。ま

た、静岡県環境学習指導員による週替わりのガイドは、講師の得意分野が異なるため、何度参加しても楽しめます。対象は幼児～大人まで、開催時間は毎週土曜日の①10時半～12時②13時半～15時までの2回で定員は先着30名です。雨天でも開催しています。

○問合せ先 静岡県立森林公園
ビシターセンター・パードピア浜北
○電話 〇五三―五八三―〇四四三



ガイドウォークの様子

H P <http://homepage.nifty.com/shinrikenouen/birdphi.html>



榛原ふるさとの森の様子

H P http://www.pref.shizuoka.jp/kankyou/ka-080/raai/h_kankyosishin.html

県都市局 公園緑地室

「愛鷹広域公園 ユニバーサルデザインの取組み、ホタル観賞の紹介」

県東部地域を代表する野球場多目的競技場を有する「愛鷹広域公園」では、平成18年度から、「日産クリエイティブサービスが指定管理者として公園の管理運営に携わり、来園者から愛される公園づくりをめざした取組みを実施しています。公園では「ユニバーサルデザイン」を今後の管理運営の柱と位置づけています。その取組みに着手するため、専門家及び障害のある当事者の指導のもと、公園内を総点検し現状把握を行い、高齢者・障害のある方の介助方法を学んだ上で、実際に移動等の介助を体験するシミュレーション講習を実施しました。

技術施設の近くに車椅子用駐車場を設置したほか、夏の高校野球観戦を楽しむにしている障害者施設の方々を迎えるため、日陰づくりとして観覧席にバランを設置する等様々な取組みを行いました。

これからも、競技施設利用者のほか、子どもから大人、高齢者、障害のある方まで多くの人たちが安全で安心して利用できるよう、計画的、継続的な「ユニバーサルデザイン」に取り組みしていきます。

他にも、園内の「せせらぎの径」せせらぎに沿って続く散歩道にみられる方々の夜間の安全に配慮するため、足元灯を設置しましたが、こうした取組み「ユニバーサルデザイン」講習後には新たに、スロープや観



パラソルを設置して日陰づくり



沼津ホタルまつり

会員の皆様のご協力により活動も滞りなく実施できました。感謝申し上げます。
平成20年度に行った景観整備機構の活動内容を紹介します。



項目	内容	時期
みどりの相談所の開設	各種イベントに相談所コーナーを設けて緑化・景観について相談に応じました。 東部支部（5地区 8回） 中部支部（4地区 5回） 西部支部（6地区 8回）	平成20年 4月5日 ～
		平成21年 3月15日
景観形成各種協議会への参加	①「美しい静岡景観推進協議会」 ②「牧之原茶園・空港周辺地域環境協議会」	平成20年4月～ 平成21年3月
技術研究等	学習会「壁面緑化モデル基本設計案の検討」 「壁面緑化モデル温熱環境調査の検討」	平成20年11月19日 平成21年1月16日
普及啓発	景観緑化の理解促進に関するパンフレット等の資料提供	平成20年4月～ 平成21年3月

景観整備機構コーナー

この「せせらぎの径」には、緑豊かな愛鷹のふもとを流れるきれいな水のおかげで、自然発生した源氏ホタルが多く生じ、幻想的な光を放ちながら飛び交い、公園の隠れた名所になっています。沼津ホタル保護研究会の皆さんとの連携のもと、6月には「沼津ホタルまつり」も盛大に開催され、子どもからお年寄りまで多くのホタル観賞者が集まりました。

このほか、春は「夜桜ライトアップ」、夏は「高校野球」や「少年少女サッカー教室」、秋は「子ども博士木博士認定活動」、また年間を通して実施している「ひとり一鉢運動」等四季折々の盛況に魅れ合うことができません。
みなさん、スポーツに、散歩など、お気軽に愛鷹広域公園を御利用ください！



「ワールドガーデンコンペティション」大賞作品
五感を癒すランドスケープ/西山大吾（福岡県）



「庭づくりプレゼンテーション」で
庭づくりを体験する参加者たち

五四人の来場者を集めて大成功を取った浜名湖花博の開催から五周年にあたる今年、会場となった浜名湖ガーデンパークでは、国際園芸協会認定の園芸博覧会「浜名湖フラワー&ガーデンフェア二〇〇九」が五月二日（金）から十日（日）までの十日間にわたって開催されました。

浜名湖花博の理念を継承し、本県の花と緑の産業振興と消費拡大を目的に、造園関係者をはじめ県内外の花と緑の関係団体と行政などが一体となって開催してきた「浜名湖フラワー&ガーデンフェア」と、浜名湖花博以来五年ぶりに実施した「ワールドガーデンコンペティション」を一体的に開催しました。

今回のフェアのメインイベントである「ワールドガーデンコンペティション」には、チェルシーフラワーショーのゴールドメダリストを含む国内外の一流ガーデンデザイナーたちが参加し、「心やすらぐ庭」をテーマに制作された二十九の庭園が会場内に展示されました。どの作品も非常にレベルが高く、世界的に有名なフラワーショーの審査員を歴任したジュリアン・ドール審査委員長をして、このように美しくして素晴らしいショーは他にはないと言わしめるほどです。

開催した今回のフェアでは、目標としていた十五万人を大きく上回る十九万人余の来場者を迎え、会場は大いに賑わいました。

また、恒例となった「庭づくりプレゼンテーション」は、五月八日（金）から十日（日）までの三日間実施され、各日とも二十人の一般来場者に庭づくりを体験していただきました。

また、恒例となった「庭づくりプレゼンテーション」は、五月八日（金）から十日（日）までの三日間実施され、各日とも二十人の一般来場者に庭づくりを体験していただきました。プロの指導のもと、実際に花や木を植えたり、芝生を敷き詰めたりすることで、庭づくりのコツを理解し、その楽しさや味わっていただけなものと思います。

静岡県は、これからも花と緑にあふれた県づくりを進めるべく、様々な事業を企画してまいります。今後とも皆様の御支援・御協力をお願い申し上げます。

県農林業局 みかん園芸室 「浜名湖フラワー&ガーデンフェア二〇〇九」が盛大に開催

技士会だより

会員の要望も

とり入れて

静岡県造園施工管理技士会
会長 望月 教彦

私達、造園施工管理技士会は毎年、受験対策講習会や緑化技術講習会を行なっております。20年度は「富士山」を6回、半年かけて現場での勉強を行い山野草の生育に必要な生育条件等を得ました。参加者は地域の野営の管理に役立ててゆくのではないかと期待しています。

さて、研修会についてですが、しばらく中断しておりますが、先達の視察などを21年度から各支部の企画立案により順次行なっております。たいと思います。

会員の皆様にとって、より良い視察研修となりますよう願っておりますので、公共、民間を問わず良い視察場所や造園関連イベント等の情報がありましたら、是非提提をお願いします。本年度の企画立案は東部支部が行うこととしましたので、是非協力のほどよろしくお願いいたします。

総会

新役員体制で 平成21年度事業計画スタート

6月26日(金)、静岡市葵区の「静岡県教育会館」において通常総会が開催された。冒頭、望月会長から近年大不況の中で、管理業務が主体となっている上、企業からの仕事も減っている状況で造園施工管理技士としての評価を得る場が減少している。今年度は一層実のある研修を実施したいとして挨拶があった。続いて、来賓の片桐利男(社)静岡県造園緑化協会会長から、

造園施工官



挨拶する望月会長

造園施工官



祝辞を述べる片桐緑化協会会長

これまで続いた大イベントが終了し造園の技術を披露する大きな場がない状況下にあつて、全国植樹祭で見た小学生の苗木づくりの成果を引き合いに小さくとも地道な活動をしていくことが必要と述べ、会長を軸に協会と共に頑張ろうと激励した。続いて議案の審議に入り、平成20年度事業実績、収支決算及び平成21年度事業計画案、収支予算案は原案通り承認され、新

新役員体制

職名	氏名	勤務先
会長	望月教彦	天野園芸(株)
副会長	小林百二	(有)小林造園
	大石春夫	(有)大石造園
常任理事	水野 豊	天龍造園建設(株)
	吉岡愛策	(有) 吉 岡
	大石誠三郎	(株)岳陽グリーン
	川口禎二	田旗造園建設(株)
理事	大森貞信	(有)翠光園
	木村 忠	(株)双葉グリーン
	安本昌弘	静鉄建設(株)
	村田昌弘	(有)富士晶造園
	乘山則行	(株)東海フォレスト
	衛藤徹雄	(株)ハケ代造園
	片桐教弘	(株)片桐造園建設
	永井慎吾	(有)永井造園
監事	中野李三	(株)愛樹園
	藤浪義之	(株)藤浪造園
	岡本 正	(株)植 勤

5月28日静岡県葵区内「静岡県産業経済会館」で開催された平成21年度建設産業団体連合会通常総会の席上、現場施工にあたり技術の向上、従業員の労務、厚生の改善など労働意欲の向上に努めたほか、後継者の指導育成、緑化の普及、造園技術の普及に努めるなど顕著な功績があったとして会長から表彰を受けた。

建産連会長表彰に 岡本 正氏



熱心に審議

たな年度がスタートした。総会終了後は、特殊空間新緑化材料をテーマに研修会を開催。東邦レオ(株)名古屋事務所の関野矢氏による屋上・壁面緑化の紹介があった。続いて、天龍木材(株)の早川博志氏による屋上緑化材「フレーム」の紹介があった。ユニークな商品に会員から活発な質問が続き新材料の知識向上に有意義な研修となった。

緑・花文化の知識認定試験

- 日 時 平成21年11月8日(日)14時から15時10分(試験時間70分)
- 場 所 静岡市葵区追手町「静岡県産業経済会館」(静岡会場)
- 実施団体 (財)公園緑地管理財団
- 申込期間 平成21年7月1日(水)～平成21年9月30日(水)
- 申込用紙 試験ホームページ(<http://www.midori-hanabunka.jp>)または当協会
- 受験料 一般(高校生以上)2,900円 こども(中学生以下)1,000円

緑・花文化の知識認定試験のポスターには、緑化の重要性と試験の概要が記載されています。ポスターには緑の葉や花のイラストが描かれています。

みんなの広場

富士山静岡空港開港記念植樹を終えて

(株)片桐造園建設 和田 典久

静岡県造園緑化協会創立40周年記念事業の一環として、富士山静岡空港開港に向け記念樹を贈呈する事が決まり、静岡県にその目録が手渡された後、当社が施工させて頂く知らずが参りました。

広大な空港内に植樹するに相応しい樹木の選定には時間がかかりました。建設建設事務所事業調整課主幹の藤牧様と主任の矢島様、県造園事務所の三名と共に磐井市に在ります当社圃場2ヶ所を見て回っていただき候補木のリストを作成した上で、最終的に圃場のクヌノキ(樹高14m・幹周1.8m・枝張7m・樹齡約70年)が選定されました。

それから間もなく平成19年4月に移植の備え根廻しと支柱固定を行い、移植の準備を整えられました。現地での植栽位置が決まっていたにもかかわらず、空港建設事務所担当官立会いのもと、周辺に障害を与えない位置を抽出していただきました。現地を測量後平面図と機断し作業工程表を作成し、細部の打合せを行いましたところ、山の斜面扱いからあまり離れていない場所

若干の窪地があった為、表面排水施設が必要となり、暗渠排水管を布設する事にしました。

大木の輸送の為大型車輛を使用しますので搬入経路には大変苦労しました。搬入の大型トラクターが一般車輛の通行と支障が生じないよう、予定の搬送路を試した上で、前後に先導車輛を配備する事として、



トレーラーへの積み込み作業

業を行い、交通上早朝の出発に必要で、その日のうちに50トントレラーによりトレーラーの積込、荷造り作業を行いました。当日は輸送途中の支障もなく無事に現地に到着する事が出来ました。

植込みの際は6.5tトラックにより吊り上げ積み込みを行いました。その際、3点ワイヤー支柱を取付けてから荷降ろしを行い、前後左右の姿を見極めて立込みをし、支柱のワイヤーの位置も均等に配慮し設置しました。水極も十分にを行い、無事に移植が完了する事が出来ました。なかなか大きな木であった為、いかにして樹木に損傷を与えないよう積込や運搬、荷降ろしをするが大変な心配もした為、何事もなく移植でき、クヌノキの梢を見上げた時は、無事に責任を果たせた安堵と喜びが湧いてきました。

静岡空港建設事務所から献木の引渡しも済み静岡造園緑化協会により御影石の立派な石碑も建立され、一際立派な光景となりました。

6月4日に無事富士山静岡空港も開港され国民の期待を寄せ、大きな翼が空に向い飛び立つておりますが、このクヌノキも空に向って大きく伸びを見守り、空港の今後の益々の発展を見守ってくださる事を願い、富士山静岡空港の開港を心より御祝い申し上げます。

協会日誌

年月日	行事又は会議	年月日	行事又は会議
平成21年		4月30日	[浜名湖フラワー&ガーデンフェア2009]ガーデン審査会
1月16日	技術委員会	4月30日	[浜名湖フラワー&ガーデンフェア2009]歓迎レセプション
1月19日	シニアワーク造園緑化講習会(浜松会場)開講式	5月1日	[浜名湖フラワー&ガーデンフェア2009]開会式
2月10日	都市緑化講演会	5/8~10日	[浜名湖フラワー&ガーデンフェア2009]緑の相談所、庭のプレゼンテーション
2月18日	(社)静岡県緑化推進協会理事会	5月11日	正副会長、支部長会議
2月18日	(社)静岡県緑化推進協会総会	5月11日	建設業労働災害防止協会静岡支部代表議員会
2月24日	啓発労働委員会	5月14日	(社)静岡県建設産業団体連合会常任理事会
2月27日	技術委員会	5月15日	建設業労働災害防止協会静岡支部主任-団体安全指導者会議
3月4日	総務企画委員会	5月25日	(社)日本造園建設業協会静岡支部常任委員会
3月9日	浜名湖フラワー&ガーデンフェア2009実行委員会第2回幹事会	5月28日	(社)静岡県建設産業団体連合会常任委員会-会長表彰式
3月9日	[浜名湖フラワー&ガーデンフェア2009]における私の夢の庭(庭園コンテスト)審査会	6月2日	啓発労働委員会
3月10日	牧之原茶園-空港周辺地域景観協議会	6月2日	会報編集委員会
3月10日	建設業労働災害防止協会静岡県支部常任幹事-団休長合同会議	6月5日	静岡県森林-林業研究センター振興協議会幹事会
3月13日	第4回役員会	6月7日	全国植樹祭
3月17日	浜松市防災協定)刷印式	6月9日	技術委員会
3月19日	浜名湖フラワー&ガーデンフェア2009実行委員会	6月11日	総務企画委員会
3月20日	静岡空港献木記念除幕式	6月16日	緑の安全推進協議会総会
4月7日	平成20年度監査	6月17日	(社)静岡県緑化推進協会理事会
4月9日	総務企画委員会	6月17日	(社)静岡県緑化推進協会総会
4月10日	第1回役員会	6月18日	静岡さくらの会常任総会
4月16日	静岡県都市緑化推進対策事業検査	7月3日	第1回理事会
4月24日	[浜名湖フラワー&ガーデンフェア2009]技術研修会	7月7日	(社)静岡県建設産業団体連合会常任理事会
4月28日	(社)静岡県造園緑化協会第30回常任総会	7月9日	シニアワーク造園緑化講習会(掛川会場)開講式
4月29日	春の森づくり県民大作戦シンポジウム	7月17日	建設業労働災害防止協会静岡支部主任-団体安全指導者会議
4月30日	美しいしずおか景観推進協議会総会	7月21日	(社)静岡県建設産業団体連合会事務局長会議

訃報

- (有)山本造園 山本秋男様(山本哲也様のお父様)
 - (株)東豊リリーディングシステムズ 福田誠三様(福田 忠雄様のお父様)
 - (株)岳崎グリーン 大石とよき様(大石誠三様のお母様)
- 平成21年1月31日逝去
平成21年4月9日逝去
平成21年5月1日逝去

